

ゆめにもむかかって



足羽学園からお別れをするSさん

特別支援学校高等部を卒業し、足羽学園から離れ、コミュニケーションネットワーク福井事業所（お弁当の製造）に就職したSさん。

Sさんには、就職して自分の力で生活をしたいというゆめがあり、高校1年生のとき、大型飲食チェーン店の店員になりたい、エンゼルランドの職員になりたいなど、ゆめが膨らむ一方、叶えるには、多くの課題がありました。そんなSさんがゆめを叶えるまでの頑張りについてご紹介します。

きっかけは？

Sさんは好きなことには集中して取り組み、頑張ったり、乗り越えることができる長所があり、就労の話になると、働いて自分で生活をした！と、仕事に対しての強い思いがありました。

高等部3年生のとき、担任の先生より、長所を最大限に引き伸ばし、就労継続支援A型（以下、A型）を目指しては？という勧めもあり、目標にすることにしました。

就労継続支援とは

就労継続支援とは、一般雇用が難しい方が一般就労を目指すサービスで、雇用規約に則った労働ができ、雇用契約を結んで働くA型と、雇用規約に則った労働が難しく雇用契約を結ばず働くB型があります。



目標がきまったら

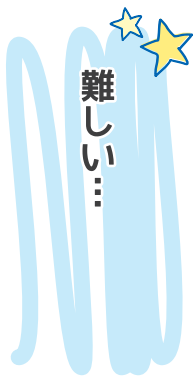
A型の会社を目指すと一言で言っても、数々の職種から選ぶのは難しく、高等部で実習したB型の事業所で行くつかの職種を実際に体験しました。実習では、商品の組み立てや、ラベル作りなどの作業を始めて体験する仕事に難しさを感じつつ、園に帰ってきて実習のことを尋ねると、笑顔で「大変だけど、頑張ってます」と話してくださいました。



実習中のSさん、商品の組み立て中

またSさんは、生活の場を園以外で体験してみたいとの思いがあり、同法人内のグループホームでSさんの夏休み中に宿泊体験を行いました。洗濯や掃除、食事の準備など自分で行わないといけないことが多く、一生懸命取り組んでいました。

働くために、いろいろな体験をし、Sさんは労働の大変さ、一人での生活の大変さを感じつつ、最後まであきらめず取り組みむことができました。

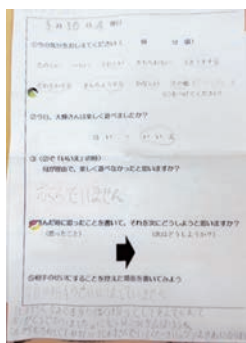


A型に移行が見えてきたところで、人間関係の築き方に問題が...

グループホームで生活をするため、園では洗濯、掃除をSさん自身で行うようになりましたが、自分の思いや

気持ちをうまく伝えることができず、園の他利用者の方と口論になってしまいう日が続きました。口論のあとに話しを聞くと、自分が悪かったと反省することも...

Sさんが少しでも自分の気持ちを伝えることができるように、担当の職員と交換日記を行いました。日記に自分の気持ちを書き、担当と一緒に考え、振り返りを行う。そうしているうちに自分の気持ちを伝えることができるといきました。



Sさんの日記 ▶
思い出もいっぱいです



実習やグループホームの体験、人間関係の改善など、将来のゆめに向かって頑張ってきたSさん。

その努力が実り、コミュニケーションのA型への移行が決まりました。

決まったときはすごくうれしそうにしていたSさん。しかしながら、園から離れる日が決まった瞬間でもありました。旅立ちの日には園長を始め職員に見送られ園を後にしました。

現在は元気よくA型での仕事を頑張っています。



ご本人から



お仕事頑張っています。お仕事を頑張っています。お仕事を頑張っています。お仕事を頑張っています。

足羽学園で生活をしてきたときは自分の好きなときに休めていましたが、仕事では好きなときに休むことができません。

自分の部屋に行くと自由だから、好きなことができるけど寂しいと思うときがあります。

でも、好きなことができる時間が多く持てるようになり楽しいと思うこともあります。これからも頑張っていきます。



身なりをしっかりと！
毎日のお仕事頑張っています！

担当からのメッセージ

足羽学園の生活の中でSさんは園を出て、自立したいという思いを話してくれました。自分の思っている通りにことが運ばないときは誰にでもあることで、頑張ったり、上手く問題を解決したりしながら、周りの人たちと仲良くなり、自分自身も気持ちよくなっていくものだと思います。

自由になるといふことは、自分が決めたことを自分なりに進めることだと思えます。

これまで出会った人とこれから出会う人を大切にしながら、自分の道を進んでいけるよう願っています。そのうちの一人として、Sさんの人生にかかわることができてうれしく思います。

担当 北村 聡